

# ① 子供の声 (アンケート)

# ② 子供の成長を予測する

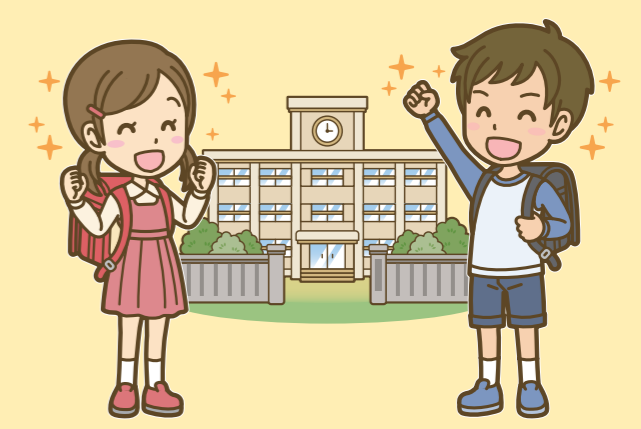
成長を見積もる

- ・強肯定「当てはまる」に注目する。
- ・ア～エの項目の中で、〇〇に着目し、全職員で共通実践として取り組めば、きっと子供たちは、「1年後に10人中〇人が当てはまる(強肯定)と答える」であろう。

教職員の感覚「取組により子供たちはこのくらい成長するだろう」(成長の見積もり)と、**子供の実際の成長が一致する**  
 ⇒ **子供の声が聞けている**  
 (取組が浸透している)

地域にとって  
 すべての教職員にとって  
 すべての児童生徒にとって  
 子供たちの不安解消  
 小学7年生 中学0年生の取組  
 小中のなめらかな接続  
 小小連携  
 新規不登校0  
 いじめ0

## 菊川市では「学びの庭」(学舎)で「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます!



菊川市の「魅力ある学校づくり」についてもっと深く知りたい方は、こちら

令和元・2年度「魅力ある学校づくり」調査研究事業 菊川市成果報告会オンデマンド配信中



**Check!**

プランニングシート

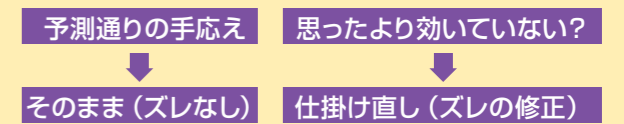
# 日常の実践を「問い直す」PDCAサイクル



# ⑤ 進捗状況を確認しながら子供の声でチェック!

短期で結果が出てほしい取組なのか(学期・ステージ)

長期で結果が出ると思われる取組なのか(1年後)



そもそも、一律同じことをやってもうまくいく活動はあるのか?  
 →子供の声を聞けていないのでは?  
 →教職員がやらされ感を感じていないか?  
 活動の形骸化

# ③ 教育活動をプロデュースする



教職員の行っている教育活動は、「どれも子供たちにとって+ (プラス) の取組」でも・・・  
**子供たちのためになっていたのか?**  
**本当に効果はあったのか?**

- 子供に目的や意図は伝わっているか。
- 一部の子供の活動になってはいないか。
- 教職員の自己満足になってはいないか。

# ④ 具体的な取組例

**目標指標「学校が楽しい」(中学1年生)**

わからん印&わかった印で授業の困り感を共有  
学級MVPを授業で活躍した人から選ぶ取組

授業がよくわかる → 学校が楽しい

**目標指標「授業に主体的に取り組んでいる」(中学2年生)**

主体的とは何か M S S (もっとも主体的な生徒)

授業に主体的に取り組ませたい → アンケート考察から、行事で大きく伸びる傾向 日常をイベント化し、行事の成長を持続する試み → 不登校が少ない

**目標指標「みんなで何かをするのは楽しい」(中学3年生)**

中2 3月 アンケート 低調 → 不登校 相談室 多い → みんなで何かをする楽しさを感じさせたい 学校が楽しいと感じてほしい